

記 事

◎第1回理事会(昭.27.6.5)出席者:稲浦会長,立花,福田両副会長,今岡,岡本,樺島,佐島,坂本,高畑,中島,本間の各理事,大西前会長,西松,米元両前理事,協議事項:(1)新旧役員の事務引継のため旧役員の出席を求めまず新理事の担当を次の通り決定した。

総務部長	富樫凱一(留任)	次長	坂本信雄(留任)
経理部長	中島重雄(新任)	〃	今岡鶴吉(留任)
編集部長	本間 仁(留任)	〃	佐島秀夫(新任)
研究部長	岡本舜三(新任)	〃	榎 修仁(新任)
連絡			
調査部長	高畑政信(留任)	〃	樺島正二(留任)

(2)他学協会との連絡担当理事を次の通り決定(留任の方は従来通り)(a)力学研究連絡委員会(岡本理事)(b)構造用鋼材規格委員会(JIS)猪瀬氏の代りに田原保二氏を推薦すること,(c)日本灌溉及び水路委員会(高畑理事)(3)福田副会長の学術会議代表として英国及び米国へ出席日程により費用調達方協議,(4)夏季講習会次第を決定(別掲参照),(5)土木工学ハンドブック刊行について定価を大体2000円とし予約特価を1500円程度とすることとし冊数によつて差を付けないこと,(6)第4回橋梁及び構造工学会議及び米国技術百年祭に国鉄施設局長江藤智氏を推薦する旨国鉄から申出があつたのでJISに申達することに決定,(7)第3回土,粉体,粒体に関する連合講演会打合せに榎理事出席のこと,(8)乾燥地帯及び準乾燥地帯の開発に関する水理学的研究の調査について文部省大学学術局長からの照会に対しては本間理事に一任,(9)編集委員の解任は原案通り承認(別稿参照),(10)会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 会誌編集委員会(昭.27.6.23)出席者:本間,佐島正副委員長,岡本,森,矢野,安部,岩塚,及川,粕谷,神谷,菊池,細井の各委員,三宅幹事

協議事項:1)新委員の紹介及び編集方針について本間委員長から説明,2)会誌及び論文集の進捗状況報告,3)寄稿論文の審査報告及び新規論文の審査委員決定,4)第37巻第8号の掲載論文を下記の通り決定。

伊藤利幸:現場コンクリートの強度試験に必要な供試体の筒数決定について,篠原謹爾:九州産火山灰類の利用に関する基礎的研究,森田定市:三池炭鉱における人工島の沈下について,徳平 淳:静水中における砂粒子の沈澱に関する実験的考察,星 治雄:橋梁

床組の計算について,大野 諫:曲梁の垂直応力度並びに弾性重量の公式について,桑原 宏・小寺重郎:モルタルT桁の一実験,久宝 保:底流砂量に関する最近の傾向。

5)第37巻第6号の討議依頼先の決定,6)抄録について。

2. 第6回製図規格委員会(昭.27.6.3)出席者:福田委員長,高畑,八十島,佐島,丸安,深谷,菊池,水越(代),樺島(代),粕谷の各委員,榎本幹事,経過:河川部門の基準案の説明があり,同案と発電部門と相違する点は樺島,高畑両委員で再検討のこと,縮尺の規定,説明的案文と解説の要望があり,ついでコンクリート構造物に補足的説明,発電部門の説明,福田委員長より総則の解説を深谷委員に依頼。

3. 第7回製図規格委員会(昭.27.6.17)出席者:福田委員長,深谷,菊池,丸安,水越(代),八十島,高畑,佐島,粕谷の各委員,田村,榎本の両幹事,経過:鋼構造案を審議,木構造,道路,都市計画については福田委員長から村上委員に連絡すること,測量部門は次回委員会で審議の予定。

4. 法面築堤崩壊防止委員会(昭.27.6.10~11両日)信越本線豊野一牟礼間129k300m附近地入り箇所現地視察を行い対策を協議した。出席者:最上,星埜,三木,福岡,八十島,渡辺,市嶋,白石,門田,池田,伊崎の各委員。

5. 第6回法面築堤崩壊防止委員会(昭.27.6.24)出席者:最上,星埜,宮崎の各委員,門田,八十島,三木,渡辺,岩塚,市嶋,白石,大場,伊崎,池田の各幹事及び高橋浩二,齋藤 徹両氏,議事:切取盛土示方書(案)を審議の結果次回に充分討議すること,豊野一牟礼間地入り対果について協議。

6. サベージ博士文献管理委員会(昭.27.6.16)出席者:吉田委員長,高橋,種谷,神谷,細谷(代)の各委員,協議事項:(1)文献は前回決定の通り早急に市政専門図書館に保管委託すること,(2)各文献について再検討の結果前回に選出した文献の外に示方書及びTVAのReportの内代表的のものを選出して関係各方面にReprintの予約募集をして複写すること,(3)分散のおそれあるものは製本して保管のこと,(4)これ等に要する雑費は東京都,電源開発調査会,電力技術研究所,日本国土開発KKで分担負担すること。

7. 土木工学ハンドブック編集各部署:各部門とも

活潑に進捗しているが、その内当学会学議室で6月18日及び24日鉄道部会、19日発電水力部会の執筆者の打合せを行った。

8. 同上幹事会(昭. 27. 6. 24) 出席者: 福田委員長, 丸安幹事長, 嶋, 柴原(代) 幹事, 協議事項: (1) 予約募集について, (2) 出版社について, (3) 7月15日主査委員会開催のこと, (4) 委員長外遊中代理者設置について, (5) 内容見本は丸安幹事長執筆のこと。

9. 夏季講習会小委員会(昭. 27. 6. 12) 出席者: 岡本理事, 加藤, 高木, 伊丹の各委員, 協議事項: (1) 講師から提出された目次について検討, (2) 映画及び見学箇所打合せ, (3) 原稿は6月末までに執筆して貰うこと, (4) プログラムは別掲“お知らせ”の通り決定, (5) 聴講者の割当を決定。

◎その他

1. 昭和27年度科学研究費配分打合せ(昭. 27. 6. 5) 出席者: 吉田, 石原両学術会議会員, 東大(本間), 生研(星埜), 北大(林), 東北大(原田), 日大(神田), 九大(鷹部屋), 京大(村山), 金沢大(喜内), 阪大(安宅), 徳島大(久保田), 早大(米屋), 学会(稲浦会長, 岡本理事, 中川書記長, 捧箸庶務主任), 文部省小泉事務官。

会長挨拶の後, 吉田 JSC 会員から JSC 会議の経過, 及び研究費配分の方針等の説明あり, 各地方毎の代表者が案を持寄り検討の結果, 配分の成案を得た。

2. 第3回土, 粉体, 粒体に関する連合講演会打合せ(6月20日, 日本化学会において) 出席者: 日本化学会, 農業機械学会, 日本鋳業会, 化学機械協会, 土木学会(榎理事出席), 農業土木学会, 応用力学会, 議事: (1) 12月12, 13両日上野科学博物館で開催,

(2) 講演は25分以内, 締切期日9月20日とし, 9月26日第2回打合せを開催し, 講演会プログラムを作成する。講演者数は25名程度とする, その他は各学会誌で公表する, (3) セメント技術協会, 窯業協会にも加入勧誘すること。

支部だより

◎中部支部 第2回幹事会(昭. 27. 5. 7) 出席者: 高桑幹事長外各幹事, 議題: (1) 4月公開講演会報告, (2) 5月見学会について, (3) 第2回役員会(福井県)について, (4) 本部総会に幹事長出席, (5) その他, 第2回役員会(昭. 27. 5. 11. 福井県芦原町において) 出席者: 石川支部長, 立神, 比企野両顧問, 各評議員, 高桑幹事長, 各幹事, 松見常議員計22名, 議題: (1) 中部支部の発展について, 懇談: 地元福井県より西村土木部長, 外関係者多数参加種々意見の交換が和やかに行われた。見学: 11日は福井駅舎新築工事, 復興博覧会, 三国港を見学, 12日は九頭龍川農業水利事業, 永平寺, 北陸電力五条方発電所建設工事を見学後白鳥駅で解散した。見学会(昭. 27. 5. 17) 岐阜長良橋及び名和昆虫研究所を見学し, 参加者170名, 橋脚の基礎ケーソン工事を詳細に見学し, 名和研究所に赴き所長の熱心な説明を聴取して解散した。第3回幹事会(昭. 27. 6. 4) 出席者: 高桑幹事長, 各幹事, 議題: 5月見学会及び年次総会報告, (2) 6月見学会について, 第2回見学会(昭. 27. 6. 15) 東海道線弁天島駅前集合して国鉄浜名湖第三橋梁改良工事中橋脚32基曳船井筒工を見学した。参加者57名。

◎関西支部 春季学術講演会(昭. 27. 6. 28) 第6号で予告した通り阪大工学部において開催, 講演者15名(2名欠講), 聴講者61名。

昭和27年6月分入退会報告(6. 1~6. 30 現在)

1. 入会 155名(特(2級)2, 正26, 准37, 学90)
2. 退会 46名(正13, 准31, 学2)
3. 転格 23名(正より名誉2, 准より正18, 学より准3)

会 員 現 在 数 (27. 6. 30 現在)

名誉員	賛助員	特別員	正員	准員	学生員	合計	増加数
18	16	242	4632	5248	1126	11282	109

昭和27年7月10日 印刷 土木学会誌 定価 100円
昭和27年7月15日 発行 第37巻第7号

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美
印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大沼正吉
印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社技報堂

東京中央局区内千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20)3945番
発行所 法人土木学会 振替東京16828番